

今年度の入学者選考結果は下記の通りとなりました。

### 概況

募集定員	40
志願者数	68
合格者数	48
志願倍率	1.7
合格者平均点 (4 教科 150 点満点)	67.9
受検者平均点 (4 教科 150 点満点)	62.7

※合格者平均点・受検者平均点は平成 31 年 1 月 4 日 (金) 実施の「学力検査」結果に基づく数値です。実際の可否は、学力検査・面接検査 (プレゼンテーション検査・面接検査・書類審査 [本校指定の検定取得者加算、その他の検定・資格取得者優遇]) を合わせた総合判定となります。

### 学力検査 詳細

科目/配点	国語/50	算数/50	社会・理科/50	合計/150
受検者最高点	40	38	36	93
受検者最低点	3	4	6	20
受検者平均点	25.5	16.5	20.7	62.7

※上記は平成 31 年 1 月 4 日 (金) 実施の「学力検査」結果に基づく数値です。

### 出題方針

昨年度より各教科でオリジナル問題を出題しています。これまでの記述形式の問題に創造的思考の要素を加えた発展的な問題です。この問題では、教科を問わず「知識量」と「思考の深さ」を試しています。単に応用問題で実力を試すだけでなく、いくつかの要素を組み合わせる新たなアイデアを創出したり、自分だったらどうするのかを意識して課題に取り組んだりすると良いでしょう。

### 国 語

例年通り、説明文・物語文・資料読取型作文を中心に、大学入試改革をみすえ記述問題に重点を置いて出題しました。そのため、決められた時間のなかで文章を適切に読み解く力が必要です。時間設定をしたうえで問題集に取り組むことを心がけてください。また、作文問題においては、図や表などを適切に読み解く力とともに、自分の考えを適切に表現する力をみています。条件に合う答え方ができているかを意識して書き、必ず添削をしてもらいながら繰り返し書く練習に取り組んでください。

### 算 数

構成は例年どおりの5題で、計算や関係性を見出すような基礎問題を多く出題しました。問題1、2は頭で考えるだけでなく、手を動かしながら法則を見つける問題、問題3、4は基本的な速さと面積の問題を出題しました。問題5は創造的な思考力を問う出題ですが、算数では特に問題文で問われている条件を満たし、人に伝える文章が書けているかどうかを採点基準としています。基礎計算や基本事項の徹底理解に力を注いでもらいたいと考えています。

## 社 会

地理・歴史・公民分野から、基本問題を中心とした出題です。例年より、図・グラフなどの数が増え、複数の情報から答えを導き出す力が必要です。また、理科の最終問題に社会との融合問題が出題され、教科を超えた出題が今後も予想されます。

## 理 科

全体として基本的な事項をおさえた上で答えを導く問題を多く出題しました。文章や図から情報を抜き出し、比較することで答えを導いたり、日常の生活の中でも考えることができるテーマでの出題もしました。日頃の観察から答えを導いたり、情報を的確に処理するなど理科・科学を学んでいく上で必要な資質を問う問題でした。